

第Ⅱ章 各分野の「計画内容の具体化」に向けた取組

1. 環境づくりの方針の具体化方策の検討

(1) 公園や緑がまちの価値を高める事例（公園緑地による効果）

公園や緑には様々な効果・役割があり、それらがまちの価値を高める要因となっている。既往文献※をもとに公園・緑地の整備による効果・役割を下表の通り整理し、次ページ以降ではそれぞれの効果・役割が検証されている事例を整理した。

表Ⅱ-1 公園・緑地の整備により期待される効果・役割

分類	効果・役割	概要
自然環境の 保全	①地球温暖化対策への寄与	大気中の二酸化炭素の吸収・固定
	②生物多様性の確保	ビオトープの創出・希少種保全など様々な生物の生息・生育空間を提供
都市環境の 良好化	③ヒートアイランド現象の緩和	蒸散作用により気温や路面温度の上昇を抑制
	④快適な住環境の形成	緑陰のある散策路やレクリエーションの場の提供
	⑤生活環境の保全	交通騒音の低減や大気浄化等の機能
	⑥防災性の向上	火災延焼防止や都市洪水、防風・防潮・防砂等の効果
	⑦良好な景観の形成	都市の豊かさ・潤いを提供する
地域社会 への貢献	⑧コミュニティの強化	個人や団体が主体的に参画して、コミュニティの結びつきを高める
	⑨環境教育・学習の場の提供	最も身近な自然的空間で、様々な活動を楽しみ、環境への理解を深める
	⑩循環型社会形成への貢献	廃棄物の発生等の抑制、植物発生材などの有効活用・再利用に寄与
レクリエーション 効果	⑪直接利用による効果	市民が直接公園等を利用することによる効果
	⑫健康増進	様々な活動による医療費の低減等の健康増進効果
経済的な 波及効果	⑬税収の増加	利用者の増加や周辺での人口増加による税収の増加
	⑭雇用の増加	公園整備・運営、イベント等の開催による雇用の増加
	⑮不動産価値の向上	不動産価値上昇による固定資産税収入増加
	⑯観光客・来訪者の増加	観光客・来訪者の増加による消費増

※『「環境の世紀」における公園緑地の取り組み』国土交通省、『Measuring the Economic Value of a City Park System』The Trust for Public Land等

自然環境の保全

①地球温暖化対策への寄与

大気中の二酸化炭素の吸収・固定

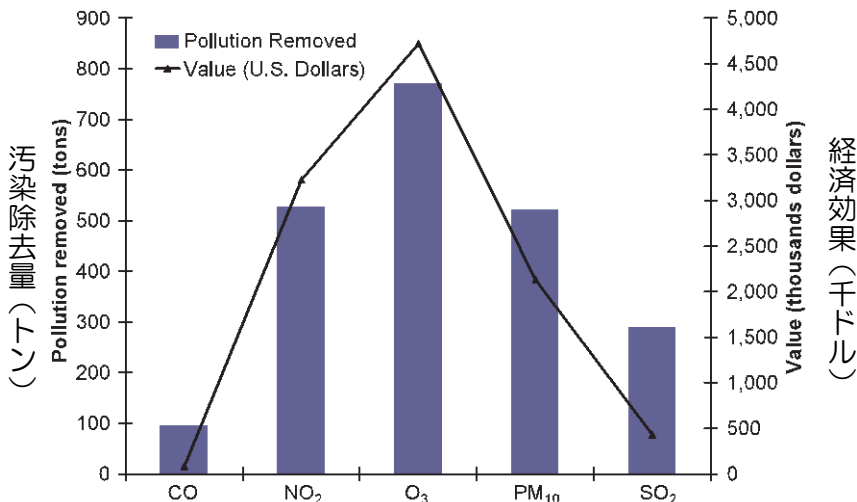
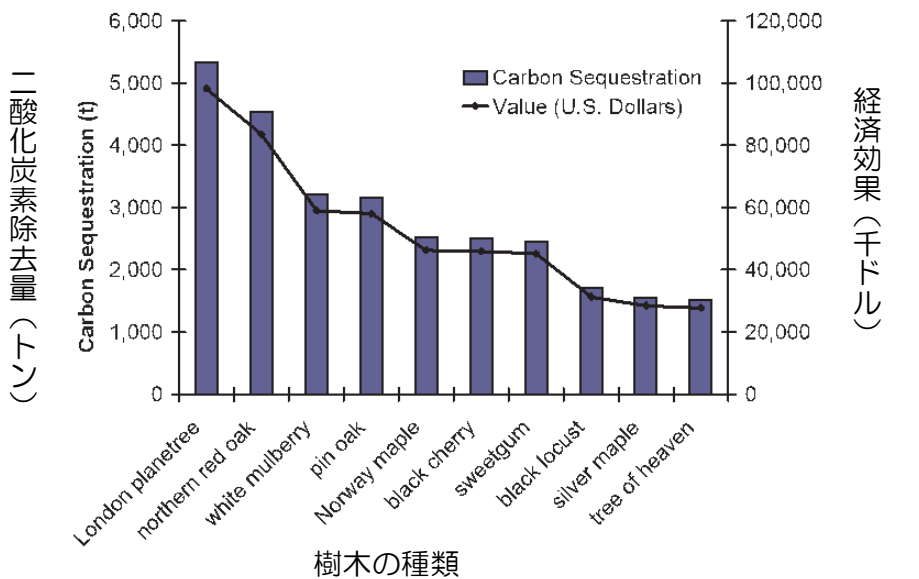
【事例】

・Urban Forest (ニューヨーク)

市公園局による「ニューヨーク市 100 万本植樹プロジェクト」で 400 億円の予算の元、2015 年までの 8 年間で 100 万本の植樹を達成。市内の樹木は 520 万本に達すると推定され、市域面積の 20.9%に及び。

⇒二酸化炭素：年間 42,300 トン除去（経済効果：年間約 7,800 万円）

汚染物質：年間 2,200 トン除去（経済効果：年間約 10 億円）



・Gardens by the Bay (シンガポール)

バイオマス発電・太陽光発電⇒約 1.3 万 t の CO₂ 削減

②生物多様性の確保

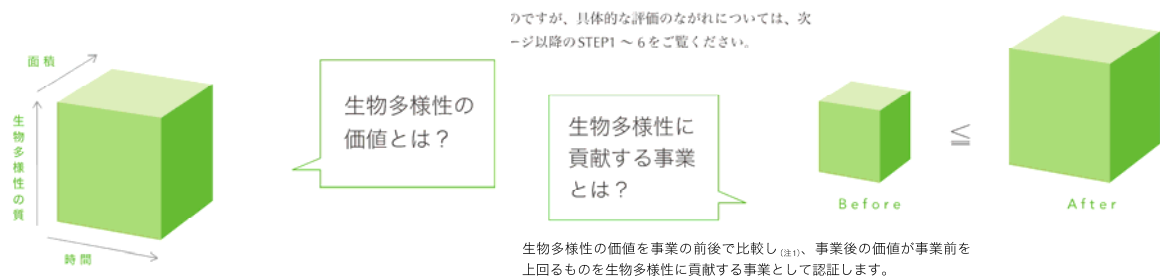
ビオトープの創出・希少種保全など様々な生物の生息・生育空間を提供

【事例】

・ JHEP 認証（日本生態系協会）

グリーンインフラを維持・拡大するに当たって重要視されるノーネットロス（自然や生物多様性価値の損失が実質的にゼロ）及びネットゲイン（改善、強化）のコンセプトに基づき、生物多様性への貢献度を定量的に測定し、評価・認証する制度。

質・面積・時間の3軸で生物多様性の価値を求める。また、事業前後での生物多様性価値を比較し、ノーネットロス・ネットゲインを確認する。



・ ABINC 認証（いきもの共生事業推進協議会）

都市における生物多様性保全への貢献度や生態系サービスが高い優れた緑地を有する事業所を認証する制度。「環境づくり」「維持管理」「コミュニケーション」の3分野にわたる17の評価項目から判断される。2014年発足。

・ Stream Restoration, Seoul（韓国/ソウル・清溪川）

生態系再生のための緑地・維持用水の供給、
高架橋・暗渠構造物の撤去

⇒生物種数が639%増加（植物、魚類、鳥類、水生動物、昆虫類、哺乳類、両生類）



BEFORE



AFTER

都市環境の良好化

③ヒートアイランド現象の緩和

蒸散作用により気温や路面温度の上昇を抑制

【事例】

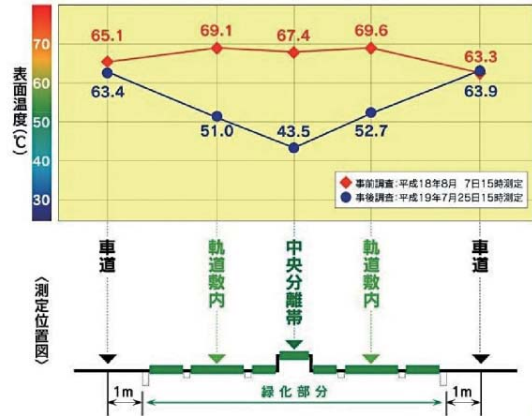
・路面電車の軌道敷（鹿児島市/日本）

路面電車の軌道敷約 35,000 m²を芝生化

⇒緑化整備前に比べ、夏の晴天時の表面温度が
軌道敷内で 17～18℃、中央分離帯で 24℃
低下



●緑化の事前と事後での温度差



・ Stream Restoration, Seoul（韓国/ソウル・清溪川）

高架橋・暗渠構造物の撤去、

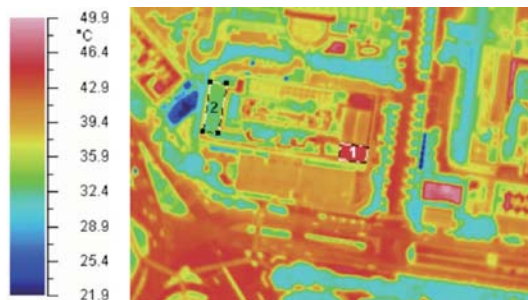
河川の復元及び散策路、親水空間、低・高水敷の整備

⇒4～7ブロック離れた区域よりも 3.3℃～5.9℃気温低下(車の通行量減少や風速の上昇等による)

・国土交通省屋上庭園（霞が関/日本）

積極的な屋上緑化

⇒屋上緑化していない部分と比べて最大 17.8℃、平均で 11.2℃の温度差



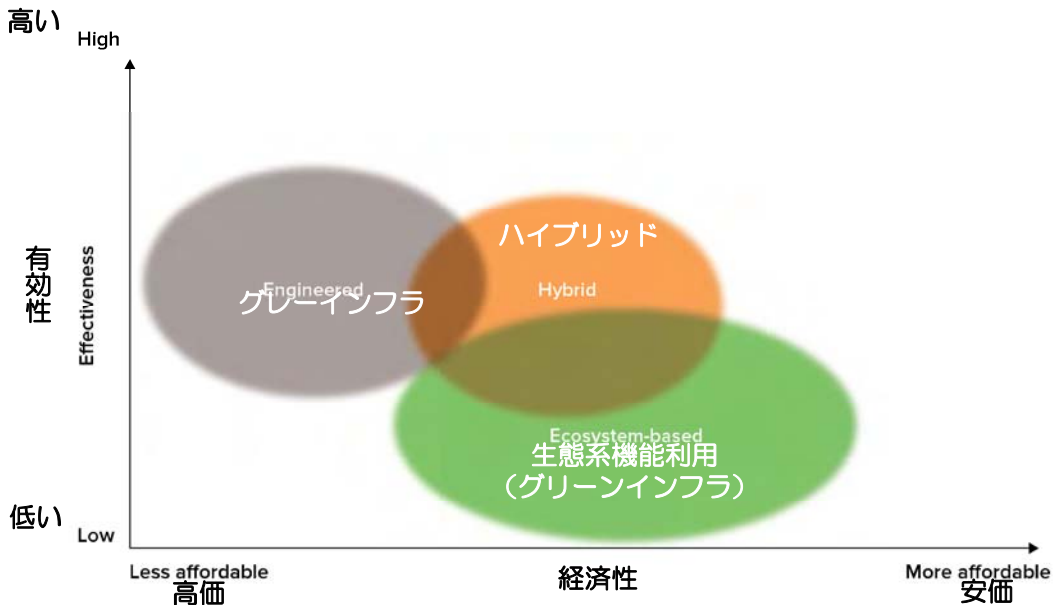
※タイル面(図中1)と緑化部分(図中2)の差が 11.2℃

<p>④ 快適な住環境の形成</p>	<p>緑陰のある散策路やレクリエーションの場の提供</p>
<p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ Philadelphia Land Care (アメリカ/フィラデルフィア)</p> <p>がれきおよび雑草の撤去と土壌改良・草木の新植 ⇒ショッピングセンター等の隣接地に公園を整備</p> 	
<p>⑤ 生活環境の保全</p>	<p>交通騒音の低減や大気浄化等の機能</p>
<p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ Gardens by the Bay (シンガポール)</p> <p>雨水貯留と空気の供給・排気⇒排ガス浄化</p> <p>・ Glasgow Green Renewal (イギリス/グラスゴー)</p> <p>防犯カメラ、照明改良等による安全性向上⇒犯罪が3分の1に減少</p> <p>・ Stream Restoration, Seoul (韓国/ソウル・清溪川)</p> <p>生態系再生のための緑地・維持用水の供給、 河川の復元及び散策路、親水空間、低・高水敷の整備 ⇒大気汚染物質が35%減少</p> 	
<p>⑥ 防災性の向上</p>	<p>火災延焼防止や都市洪水、防風・防潮・防砂等の効果</p>
<p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ Gardens by the Bay (シンガポール)</p> <p>雨水貯留と空気の供給・排気⇒雨水貯留・再利用により洪水の発生を抑制</p> <p>・ Philadelphia Land Care (アメリカ/フィラデルフィア)</p> <p>がれきおよび雑草の撤去と土壌改良・草木の新植 ⇒空き地を嵐時の雨水管理のモデル地として有効利用</p> <p>・ Stream Restoration, Seoul (韓国/ソウル・清溪川)</p> <p>河川の復元及び散策路、親水空間、低・高水敷の整備、 高架橋・暗渠構造物の撤去 ⇒200年続く洪水被害の防止、水流の速さを一定化</p> 	

・「**極端な気象へのレジリエンス**」(英国王立協会 2014)

近年増加している極端な気象による自然災害に対して、人間社会がレジリエンス(耐久力・復元力)を備えることが重要であると述べている。災害を減らすためのインフラは、グレーインフラだけでなく生態系の機能を利用したインフラも考慮する必要があると指摘している。

＜各種インフラの経済性と有効性＞



⑦**良好な景観の形成**

都市の豊かさ・潤いを提供する

【事例】

・**緑の景観評価**

戸建住宅(東京区部西部、北九州市)における定性的な景観評価が住宅価格に与える影響を分析する研究

⇒両地域において、緑地に起因する評価視点の評価点が上昇すると土地単価が上昇するという結果に

●**戸建て住宅地における定性的な景観評価**

評価の観点	単価上昇分		(単価上昇分の単位は千円/m ² 。一は有意な単価上昇効果が出なかったことを示す。評価の視点が1ポイント上昇した時の住宅地の価格上昇状況を算定。)
	①都区部西部	②北九州市	
a. 壁面位置の連続性	4.31	0.32	一は有意な単価上昇効果が出なかったことを示す。評価の視点が1ポイント上昇した時の住宅地の価格上昇状況を算定。)
b. 色彩と外装材の統一性	4.71	0.35	
c. 外観と意匠の共通的な特色	5.27	0.49	
d. まちのスカイラインによるまとまり	2.52	0.19	
e. 街区のスケールによる開放感	—	0.64	
f. 緑の連続性と視覚的な広がり	5.81	2.82	
g. 生け垣や植樹等による街路景観	10.35	3.08	
h. 空地と歩行者空間の緑化	7.52	2.85	
i. 良好な歩行者空間の形成	—	2.76	
j. 親しみのある街路生活空間	—	0.2	
k. 歩行者空間のしかけ等による賑わい	—	0.49	

地域社会への貢献	
⑧コミュニティの強化	個人や団体が主体的に参画して、コミュニティの結びつきを高める
<p>【事例】</p> <p>・ <u>Philadelphia Land Care (アメリカ/フィラデルフィア)</u></p> <p>地域コミュニティと連携した清掃・植栽管理</p> <p>⇒小学生とともに4つの学校周辺に100本以上の植樹を実施</p>	
⑨環境教育・学習の場の提供	最も身近な自然的空間で、様々な活動を楽しみ、環境への理解を深める
<p>【事例】</p> <p>・ <u>Philadelphia Land Care (アメリカ/フィラデルフィア)</u></p> <p>地域コミュニティと連携した清掃・植栽管理</p> <p>⇒小学生とともに4つの学校周辺に100本以上の植樹を実施</p> <div style="text-align: center;">  </div>	
⑩循環型社会形成への貢献	廃棄物の発生等の抑制、植物発生材などの有効活用・再利用に寄与
<p>【事例】</p> <p>・ <u>Gardens by the Bay (シンガポール)</u></p> <p>バイオマス発電・太陽光発電</p> <p>⇒間伐材や農業廃棄物によるバイオマス発電や太陽光発電による省エネルギー化</p>	

レクリエーション効果

⑪ 直接利用による効果

市民が直接公園等を利用することによる効果

【事例】

・ Philadelphia Land Care (アメリカ/フィラデルフィア)

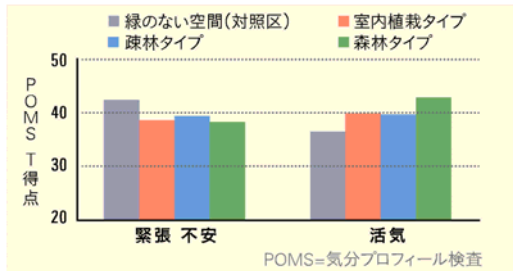
がれきおよび雑草の撤去と土壌改良・草木の新植、
地域コミュニティと連携した清掃・植栽管理

⇒住民のストレス軽減、運動量増加、特定の犯罪減少

・ 緑がもたらす心身への効果

民間研究機関の研究で、緑のある空間と緑のない空間で休息した後の気分状態を検査⇒緑のある空間では緑のない空間に比べると、緊張-不安状態が緩和され、活気状態が上昇

● 緑のある空間と無い空間で休息した後の気分状態の比較



清水建設株式会社技術研究所提供資料より作成

⑫ 健康増進

様々な活動による医療費の低減等の健康増進効果

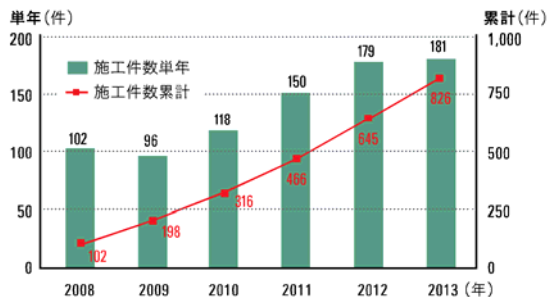
【事例】

・ 医療福祉施設での取り組み(日本)

医療福祉施設において患者等が参加して花や野菜を育てる取組みが増加

⇒緑とふれあう体験のリハビリテーションと療養の効果が注目されている。

● 医療福祉施設における屋上緑化の施工件数



収穫作業の患者をケアする看護師。あいちリハビリテーション病院(愛知県西尾市)

経済的な波及効果

⑬ 税収の増加

利用者の増加や周辺での人口増加による税収の増加

【事例】

・ Glasgow Green Renewal (イギリス/グラスゴー)

公園利用者や地元の要望を踏まえてデザイン、
遺跡等の復元、
芝生化と車道・ストリートファニチャーの改良
⇒地方税の税収が 47%増加、事業者課税評価額 15%増加

・ Highline Linear Park, NYC (アメリカ/ニューヨーク)

散策路や休憩施設、展望デッキ、トイレの整備、
100 種類以上の草花や低木の新植、
高架下の店舗等利用
⇒2010 年の税収が 10 億ドル増加

⑭ 雇用の増加

公園整備・運営、イベント等の開催による雇用の増加

【事例】

・ Gardens by the Bay (シンガポール)

雨水貯留と空気の供給・排気、
バイオマス発電・太陽光発電、
巨大ドーム型植物園
⇒公園の整備・管理等に関わる雇用の創出

・ Glasgow Green Renewal (イギリス/グラスゴー)

公園利用者や地元の要望を踏まえてデザイン、
遺跡等の復元、
芝生化と車道・ストリートファニチャーの改良
⇒雇用が 28%増加、公園整備により 230 人分の雇用に創出、新規事業が 1998~2000
年で 96,000 ポンド創出

・ Philadelphia Land Care (アメリカ/フィラデルフィア)

がれきおよび雑草の撤去と土壌改良・草木の新植、
地域コミュニティと連携した清掃・植栽管理
⇒100 人以上の住民に雇用を生み出す

・ Stream Restoration, Seoul (韓国/ソウル・清溪川)

高架橋・暗渠構造物の撤去、撤去廃材のリサイクル、
河川の復元及び散策路、親水空間、低・高水敷の整備
⇒雇用者数が 0.8%増加 (周辺地域では 2.6%減少)

• **Highline Linear Park, NYC (アメリカ/ニューヨーク)**

散策路や休憩施設、展望デッキ、トイレの整備、
 100種類以上の草花や低木の新植、
 高架下の店舗等利用
 ⇒12,000の雇用を創出

⑮不動産価値の向上

不動産価値上昇による固定資産税収入増加

【事例】

• **Philadelphia Land Care (アメリカ/フィラデルフィア)**

がれきおよび雑草の撤去と土壌改良・草木の新植、
 地域コミュニティと連携した清掃・植栽管理
 ⇒いくつかの土地において評価額の著しい増加



• **Stream Restoration, Seoul (韓国/ソウル・清溪川)**

河川の復元及び散策路、親水空間、低・高水敷の整備、
 公園・広場、照明灯の景観整備
 ⇒地価が30~50%上昇(ソウル他地域の2倍)

• **Highline Linear Park, NYC (アメリカ/ニューヨーク)**

散策路や休憩施設、展望デッキ、トイレの整備、
 100種類以上の草花や低木の新植、
 高架下の店舗等利用
 ⇒2003年に対する2011年の公園近隣の資産価値が103%増(2.03倍)



16 観光客・来訪者の増加

観光客・来訪者の増加による消費増

【事例】

・ Stream Restoration, Seoul (韓国/ソウル・清溪川)

河川の復元及び散策路、親水空間、低・高水敷の整備、
公園・広場、照明灯の景観整備

⇒来訪者が平均 64,000 人/日増加、外国人観光客による 130 万ポンド(約 2 億円)相当の
経済インパクト



・ Gardens by the Bay (シンガポール)

巨大ドーム型植物園

⇒2014 年は 1510 万人(シンガポールへの観光客の約 3 分の 1)の来場

※2015 年には Facebook で世界 13 位にチェックされた場所に

・ Glasgow Green Renewal (イギリス/グラスゴー)

公園利用者や地元の要望を踏まえてデザイン、

遺跡等の復元、

芝生化と車道・ストリートファニチャーの改良

⇒1998～2006 年にかけての来訪者が 3,730 万ポンド消費

・ Highline Linear Park, NYC (アメリカ/ニューヨーク)

散策路や休憩施設、展望デッキ、トイレの整備、

100 種類以上の草花や低木の新植、

高架下の店舗等利用

⇒公園に約 400 万人が来訪(うち、半数が域外からの来訪)

(2) 文化財等のまちづくりへの活用の事例

(2) -1 歴史・文化資源の活用の考え方

(2) -1-1 歴史・文化資源を活用したまちづくりのねらい

普天間飛行場内に所在する旧集落にかつて住んだことのある方々や、それを知る世代にとって、そこに所在する歴史・文化資源はアイデンティティの拠り所であり、郷友会からは保存・活用の方向性が要望されている。一方、沖縄戦後生まれの子・孫世代や、飛行場の外側に他所から移り住んできた住民にとっては、馴染みがなく愛着が薄いのが実際である。本来、歴史・文化資源は先人たちの生きた証であり、その土地固有のものであるから、それらを活用することで土地に根ざした暮らしを継承・創造していくことができると考えられ、宜野湾らしいまちづくりにつながると期待できる。

そこで、当跡地でも参考となる、歴史・文化資源を活用したまちづくりの事例を収集し、同取り組みを進めていくことが、新住民を含めた全ての人々にとって有効であり、跡地の魅力向上につながることを確認する。

表Ⅱ-2 歴史・文化資源として利活用が想定されるもの

資源の種類	想定される資源	活用方向性（案）
[1]有形文化資源		
①絵画・彫刻 ②工芸 ③書籍・典籍 ④古文書 ⑤考古資料 ⑥歴史資料	—	—
⑦建造物	屋敷遺構、井泉等	伝統民家再現施設、水のある空間
[2]無形文化資源		
①芸能 ③空手、古武術	集落の伝統芸能	年間行事での継承
②工芸技術	—	—
[3]無形文化資源の保持者及び保持団体 →[2]-①に含める		
[4]有形民俗文化資源		
①衣食住に用いられるもの ④交易に用いられるもの ⑤社会生活に用いられるもの ⑦民俗知識に関して用いられるもの ⑨人の一生に関して用いられるもの ⑩年中行事に用いられるもの	—	—
②生産、生業に用いられるもの	迫田(さこた)等	小河川とセットで体験農園等
③交通、運輸、通信に用いられるもの	道路等	遊歩道〇〇道
⑥信仰に用いられるもの	社祠、神あしやげ、御嶽等	拝所の移設整備
⑧民俗芸能、娯楽、遊戯に用いられるもの	舞台等(闘牛場跡)	ウシナー公園、毛(モー)公園等
[5]無形民俗文化資源		
①風俗慣習のうち重要なもの	地名、伝説地	地名の継承
②民俗芸能のうち重要なもの	集落の伝統祭祀	綱曳等の復活
[6]史跡名勝天然記念物に準じるもの		
①史跡に準じるもの	集落跡、グスク、番所跡、馬場跡、戦跡、御嶽その他祭祀信仰に関する遺跡	緑地や公園としての活用
②名勝に準じるもの	河川、岩石、洞穴、展望地点	→自然資源の保全活用で扱う
③天然記念物に準じるもの	宜野湾並松 その他→自然資源の保全活用で扱う	宜野湾並松はシンボルロードとして再現

種別については、「沖縄県文化財の指定・認定・選定及び選択基準」を参考に作成した。

(2) - 1 - 2 種別による資源の活用方向性

歴史文化・資源には様々な種類があるため、活用の方法も多様であると考えられる。一方、伝統的集落においては、信仰に関する資源が多く、それらは先祖崇拝と自然崇拝その他*1に由来するものに大別され、前者の代表的なものが、集落の開祖の住居跡でその子孫の血縁集団にとっての拝所となった御嶽(うたき)*2や殿(とうん)である。自治会の年中行事は、御嶽・殿に由緒があり代々この地に住んできた方々が中心となって執り行われる場合が多く、やや閉鎖的な点がないとはいえない。しかしながら、跡地利用においてまちづくりを展開していく上では新住民の参加が不可欠で、今後の地域の主役を担う新旧住民双方の交流機会として、新たな視点から資源の積極的な活用の方向性が考えられる。

*1: ここではニライカナイ信仰やティダ信仰や火の神信仰も含め、祖先崇拝に対置したものとして用いている。
 *2: 広義の「御嶽」は聖地であるが、ここでは、狭義の“近世集落の源流となった古代の集落があったと考えられる場所”の意で用いている。

表 II-3 信仰に関する資源の活用方法について

種別	活用の方	活用イメージ
先祖崇拝に由来するもの	御嶽・殿等	新たに転入した住民にとっては、御嶽・殿との血縁関係もないため、ルーツとしての信仰対象にはなりにくい側面がある。
自然崇拝に関連するもの	湧泉等	現代の衛生基準からはそのままでの生活用水利用は難しい。
	五穀豊穰や集落の安寧を祈願する祭祀等	地域に伝わる年中行事で、シマの基層を体感する素材となる。新住民が参加可能なものにする。

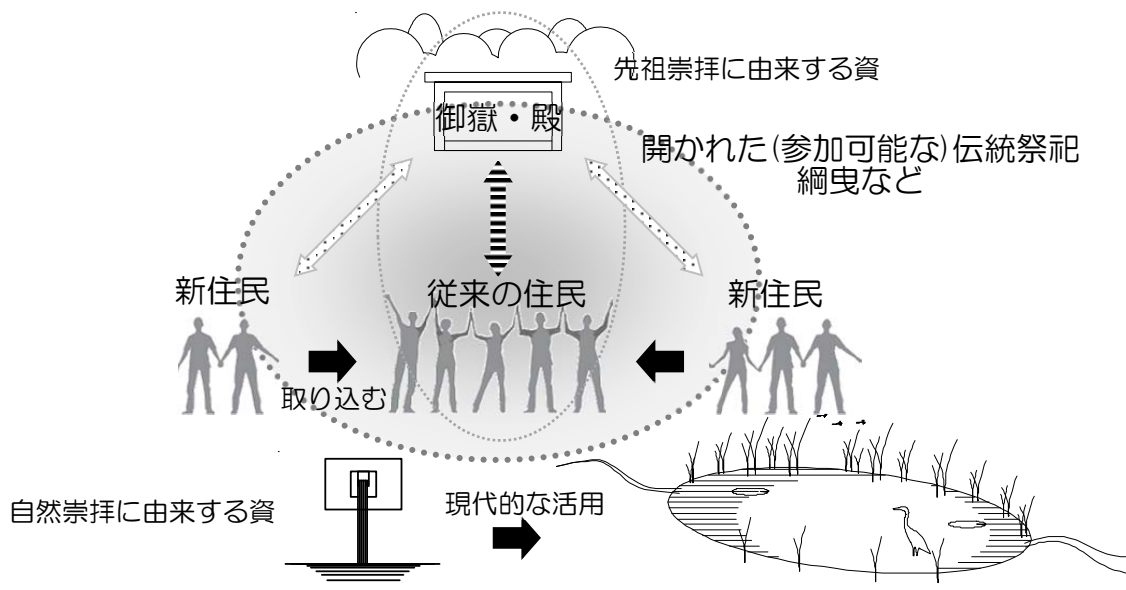


図 II-1 信仰に関する資源の活用方法イメージ図

(2) -2 歴史・文化資源の活用事例

県内における水資源、生産遺跡、伝統家屋・屋敷、史跡、地域祭祀の事例を整理する。

■水資源の活用

活用内容	散水利用		
資源名	村ガー	所在地	那覇市壺屋 壺屋やちむん通り沿い
概要	共同井戸で貴重な飲料水と使用されてきた。現在では手押しポンプを備え、沿道植栽への散水等に利用されている。やちむん通りの整備は平成11年完成。		
写真			
跡地での活用想定	旧集落（屋取集落を含む）内の宅地跡に残る井戸のうち、新規計画道路沿いに位置するもの。		

活用内容	ビオトープ・学習利用		
資源名	カーヌ毛	所在地	沖縄市泡瀬 カーヌ毛
概要	ビオトープをモデルとして地域に湿地を回復させたいとの思いから、郷友会（泡瀬復興期成会）が中心となって平成19年に整備。		
写真			
跡地での活用想定	旧宜野湾のインガー、新城シマヌカー古湧泉、神山クシヌカー古湧泉など。水量が少ないものでも、溜め池による活用が可能。		

■生産遺跡の活用

活用内容	稲作体験利用		
資源名	受水走水の御穂田・親田	所在地	南城市玉城字百名 受水走水
概要	旧暦正月後の初午の日、豊作を願う仲村渠区の田植え行事『親田御願』が行われる。市内の小学生の田植え体験にも活用されている。		
写真			
跡地での活用想定	かつて稲作が行われていたシリガーラー帯の小河川と迫田跡の再生・活用。		

■伝統家屋・屋敷の活用

活用内容	郷土学習利用		
資源名	旧目取真家住宅等（うちなあ家）	所在地	北谷町字上勢頭 北谷あしびな公園内
概要	旧目取真家主屋、旧崎原家フル、奄美の高倉等を移築・修復し沖縄の伝統的な屋敷と建物を再現した施設。平成6年頃整備。平成24年、主屋及びフルが国登録有形文化財となった。		
写真			
跡地での活用想定	新城古集落、赤道渡呂寒原屋取古集落のうち、屋敷遺構（基壇・石垣・ヒンプン・井戸・フル等）が立派で残存状態のよいもの。家屋は聴き取り等に基づき再現する。		

■史跡の活用

活用内容	広場空間の利用		
資源名	今泊馬場	所在地	今帰仁村字今泊
概要	集落中央を東西に走る大道はアブシバレー（害虫駆逐儀礼）の時に競馬場が行われた馬場で、現在では、地域のコミュニティを結びつける重要な要素である豊年祭の舞台となっている。		
写真			
跡地での活用想定	馬場を再現する場合、旧宜野湾集落の伝統祭祀を再現する。新たなイベントの空間としても活用する。		

■地域祭祀の活用

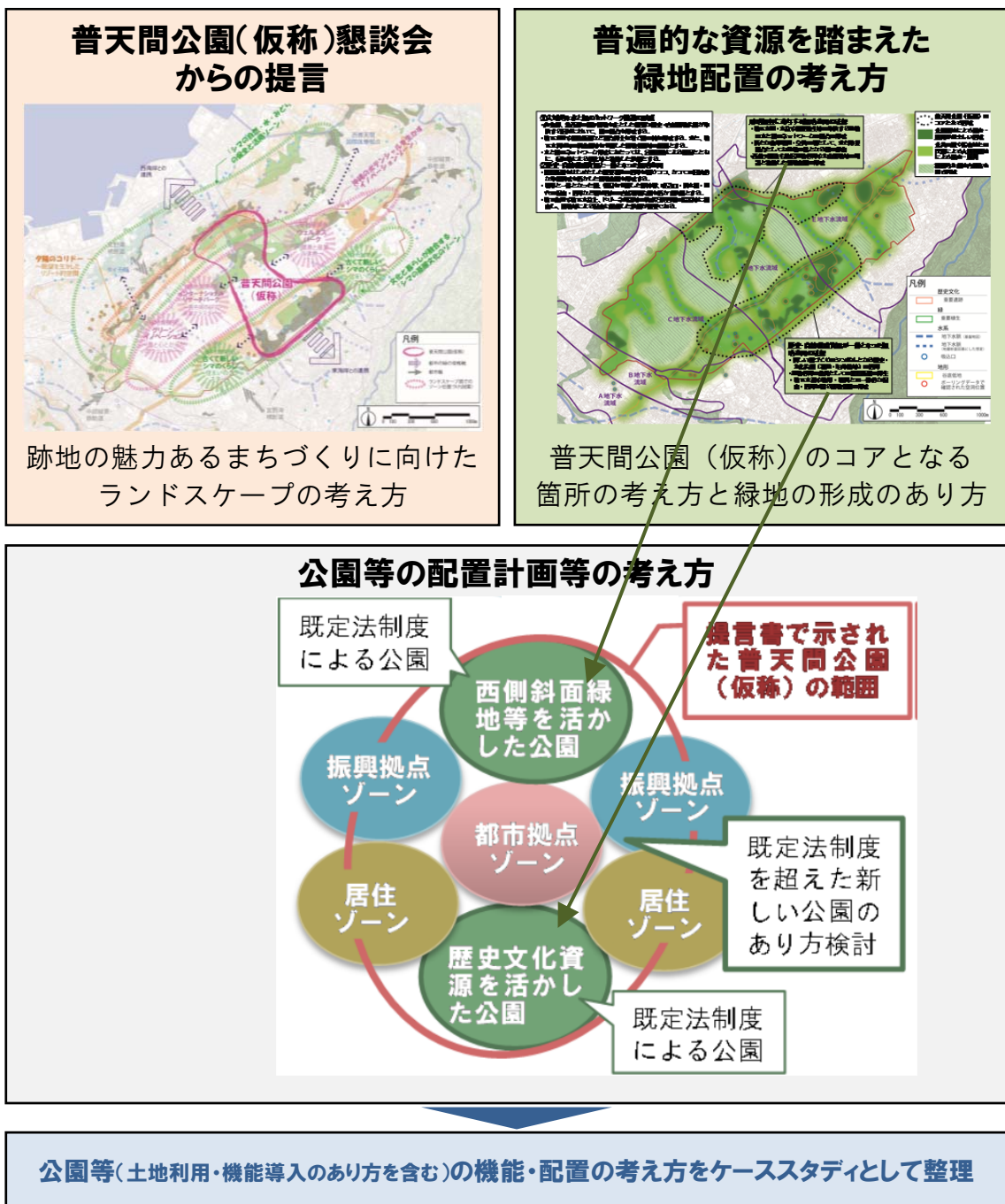
活用内容	伝統祭祀による交流と参加呼びかけによる新たな担い手（転入住民）の取り込み		
資源名	旗頭	所在地	那覇市真嘉比地区
概要	当地区は、那覇市新都心（銘苅地区）に連動する形で区画整理を実施した。当該地域に在住する世代の子世代は、区画整理後に親世帯と一緒に2世帯住宅を建設する形で、住宅を建設するケースが主であり、子世代にとっては旧地に対する直接的な愛着はないものの、継承すべきと考えられる祭祀を基軸に、新規移入者にも幅広く声かけをして伝統祭祀の継承を行っている。		
写真			
跡地での活用想定	旧宜野湾、旧神山の伝統祭祀の再興。		

(3) 普天間公園（仮称）懇談会からの提言を踏まえた公園等の配置計画等

昨年度までに検討された普遍的な資源を踏まえた緑地配置の考え方を基本に、普天間公園（仮称）懇談会からの提言を踏まえた公園等の配置計画を以下の通り検討した。

(3)-1 検討の視点

普遍的な資源を踏まえた緑地配置は、既存の歴史文化・自然環境資源の保全・活用を基本としており、これらの資源に関わる範囲外の公園的利用については触れていない。普天間公園（仮称）懇談会からの提言においては、土地利用や機能・役割を考慮した公園の範囲が示されている。これらを踏まえ、普遍的な資源が集積する箇所を中心に据えつつ、公園の機能・役割も考慮した公園等の配置等について、規定法制度を超えた新しい公園のあり方を検討する。

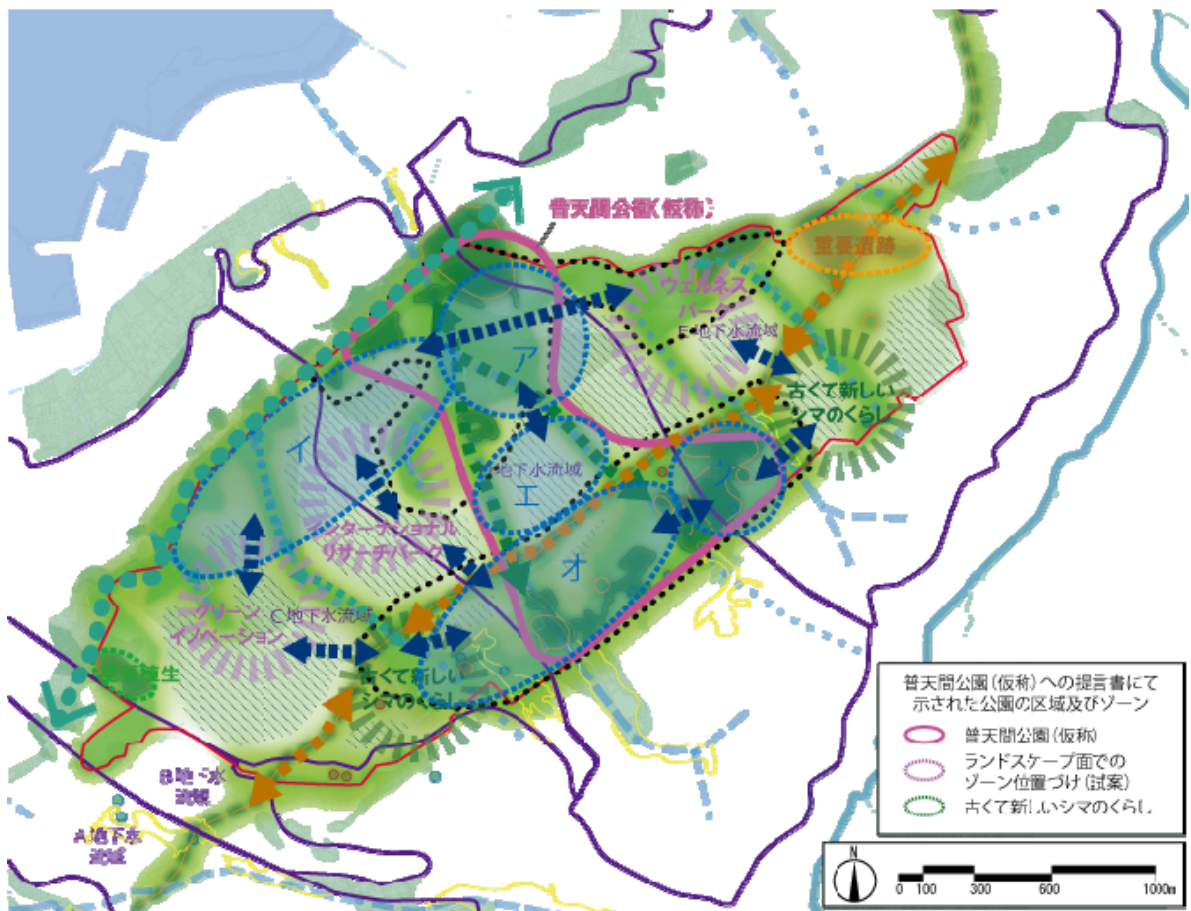


(3) -2 普天間公園（仮称）懇談会からの提言を踏まえた公園等の配置計画等

普遍的な資源及び普天間公園（仮称）懇談会からの提言で示されている普天間公園（仮称）の考え方及び区域、跡地の魅力あるまちづくりに向けたランドスケープの考え方との関係を踏まえて、以下の通り公園等の機能例を設定し、配置を検討した。

【公園等の機能例】

<p>ア:防災・平和希求</p>	<p>西側の既成市街地からの避難場所となり、平和・交流イベント等が可能な多目的広場など</p>
<p>イ:健康・医療・バイオ研究</p>	<p>西普天間住宅地区と連携した医療・ウェルネス関連の西海岸の眺めを生かした先端産業の場 ※地下水流域毎の地下水浸透にも配慮した緑地</p>
<p>ウ:自然史、スマート・グリーン インフラ研究</p>	<p>シマの基層の成り立ちと経緯を知ることができ、住居系の環境インフラと一体となったエリアを形成 環境づくりの先進地としての研究・発信の場</p>
<p>エ:緑に囲まれた都市の拠点</p>	<p>地下水脈上の緑道や官民による積極的な敷地内緑化等により、緑の豊かさが感じられる都市空間</p>
<p>オ:かつての暮らしを偲ぶこと のできる生活空間</p>	<p>並松街道沿いの賑わいや御嶽や拝所、遺跡と一体の丘陵緑地に囲まれた、ぎのわんの歴史・文化を感じられる生活の場</p>



図Ⅱ-2 普天間公園（仮称）懇談会からの提言を踏まえた公園等の配置計画等（ケーススタディ）

(参考) 公園等の配置計画等 (ケーススタディ) のイメージ

ア:防災・平和希求



観光や交流の拠点としての緑
(例: シンガポール植物園)

イ:健康・医療・バイオ研究

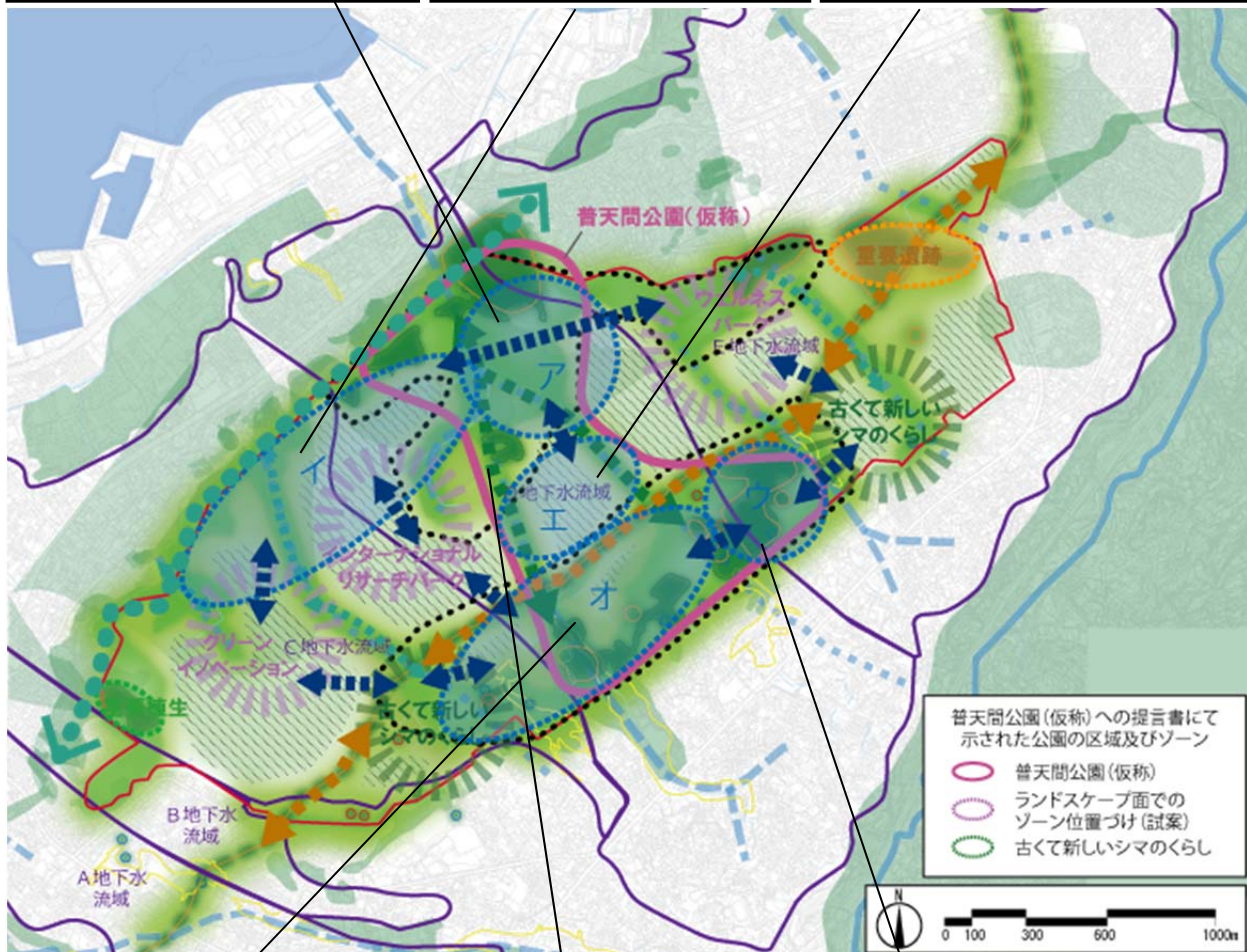


周辺の緑の帯と連続し、周辺に開かれた研究施設等
(例: NUS キャンパス)

エ:緑に囲まれた都市の拠点



緑の豊かさを感じられる都市基盤 (左) やインセンティブ付与による建物緑化の推進 (右)
(例: Parkloyal on Piclering 等)



オ:かつての暮らしを偲ぶことのできる生活空間



かつての並松街道の様子と原風景模型

東西の緑の拠点を繋ぎ、回遊の軸となる地下水脈上の緑道



緑と回遊のネットワークの連続 (例: サザン・リッジズ)

ウ:自然史、スマート・グリーンインフラ研究



建物のグリーン化技術の深度化した研究施設等
(例: BCA-Academy)